

—交換手順書—

専門業者様向け

■ 交換の前にご確認ください

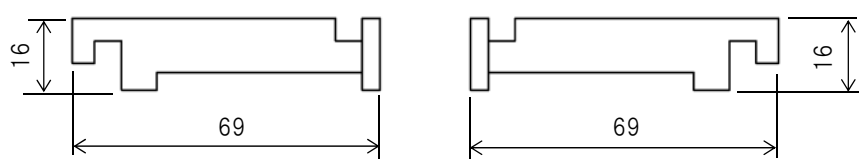
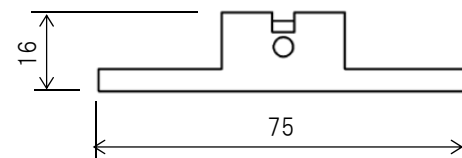
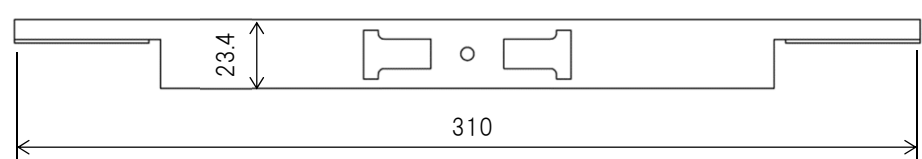
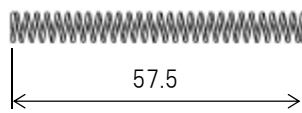
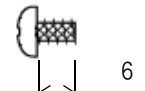
■ 安全のため必ずお守りください

- ・ 2階腰高窓など、バルコニーの設置が無い箇所での作業は、作業者の転落や部品、工具の落下の危険がありますのでおやめください。
- ・ 脚立を使用する際は安定した場所に設置し、安全に十分注意したうえで作業してください。

■ 必要な工具

プラスドライバー

■ 梱包内容

名称	形状等	個数
つまみ右 つまみ左 (手動用)		各 1 個
固定板		1 個
化粧カバー		1 個
スプリング		2 本
なべ小ねじ	<p>M4×6</p> 	1 本

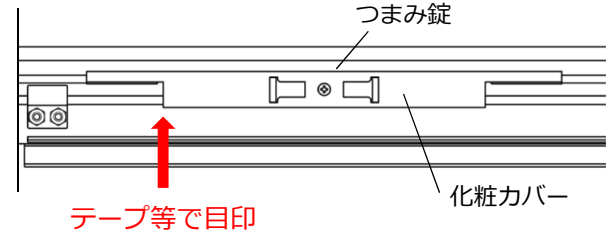
—交換手順書—

専門業者様向け

■ 交換手順

1. つまみ錠の位置確認

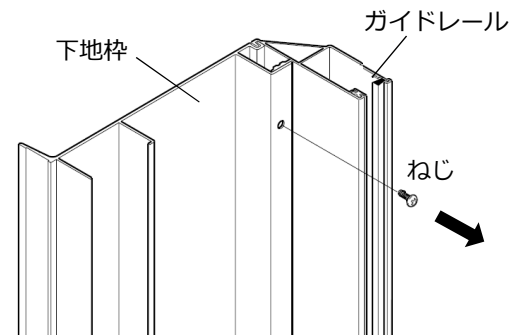
- ① つまみ錠が取付けられている左右の位置が分かるように、化粧カバーの端部位置にテープ等で目印を付けてください。
(交換時の位置出しのため)



室内側

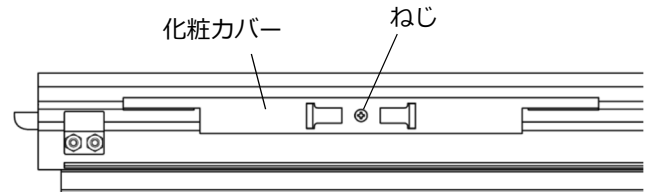
2. 内観左側ガイドレールの取り外し

- ① シャッターを全開にします。
- ② 内観左側のガイドレールを固定しているねじをドライバーで全て取り外し、下地枠からガイドレールを取り外します。

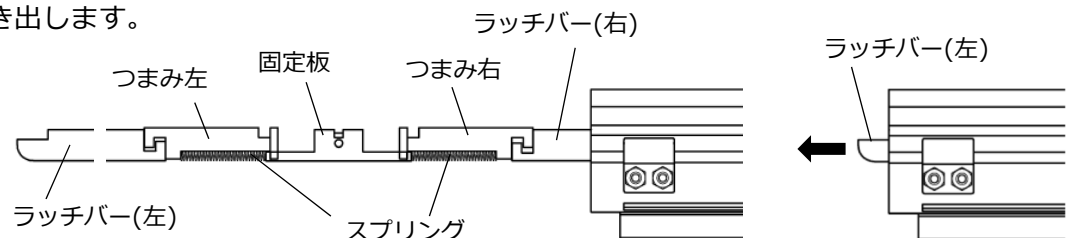


3. つまみ錠の取り外し

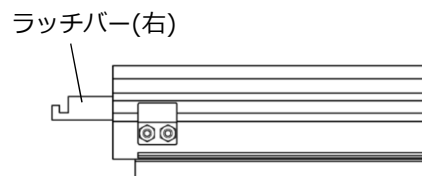
- ① 座板を持ち、ゆっくりとシャッターを下ろします。シャッターが手を離しても自動で巻き上がらない高さまで引き下げてください。
- ② つまみ錠のねじをドライバーで取り外し、化粧カバーを取り外します。



- ③ 座板の端部から出ているラッチバーを引出し、つまみ、固定板、スプリングをスライドさせて座板から抜き出します。



このとき、ラッチバー(右)は座板の溝内に残してください。ラッチバー(左)も再度使用しますので、破棄しないでください。



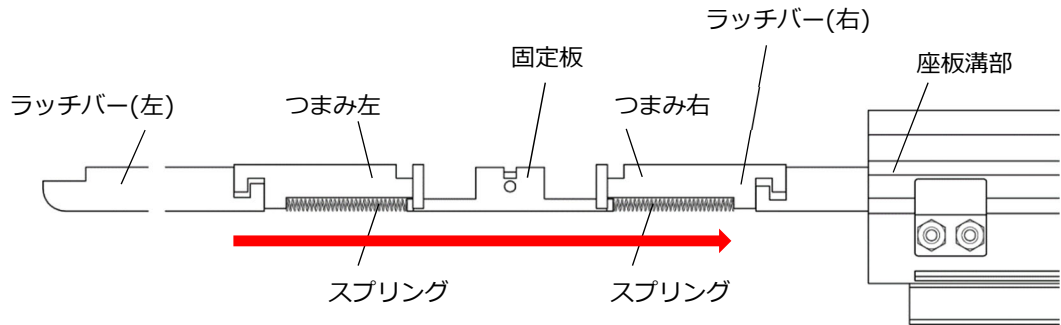
発行年月	2022年7月
手順書 No.	08223
品番	SSUTIRUJYO

—交換手順書—

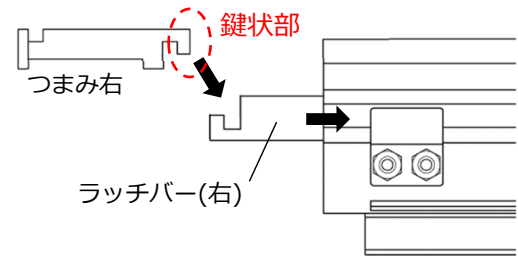
専門業者様向け

4. つまみ錠の取付け

- ①新しいつまみ錠のセット部品を、右下図の順番に座板溝部へスライドしながら挿入していきます。



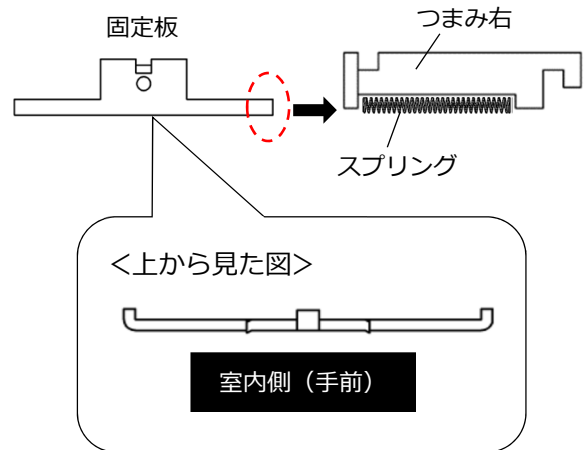
- ※つまみの鍵状の部分を、ラッチバーの切欠部に合わせます。



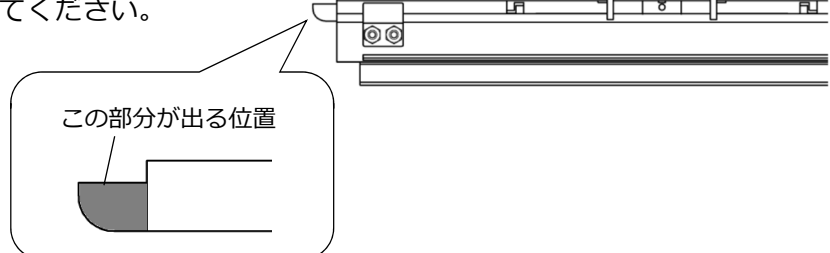
- ※スプリングはつまみの下部へ挿入します。
 ※固定板の先端がスプリングを押すように座板の溝部へ挿入します。

<注意事項>

固定板の上下、裏表の向きに注意してください。



- ②ラッチバー(左)の先端が座板から出る位置までスライドさせてください。

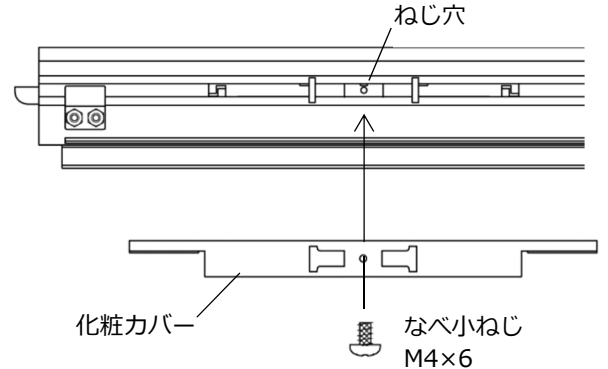


発行年月	2022年7月
手順書 No.	08223
品番	SSUTIRUJYO

—交換手順書—

専門業者様向け

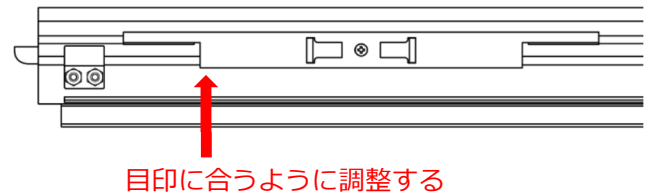
- ③つまみの左右を閉じながらつまみを化粧カバーの切り欠きに入れ、化粧カバーをかぶせます。ドライバーを使用し、化粧カバーを付属のなべ小ねじ M4×6 で固定板のねじ穴に仮固定します。つまみを操作し、ラッチバーの先端が動作することを確認してください。



- ④最初に付けた化粧カバーの端部位置の目印に合うように化粧カバーの左右位置を調整し、なべ小ねじ M4×6 を本締めします。

<注意事項>

つまみ錠の左右位置がずれると、施錠不良やシャッター開閉時に引っかかるおそれがあります。



5. 内観左側ガイドレールの取付け

- ①座板を手で持ちながら、シャッターを全開までゆっくりと巻上げていきます。

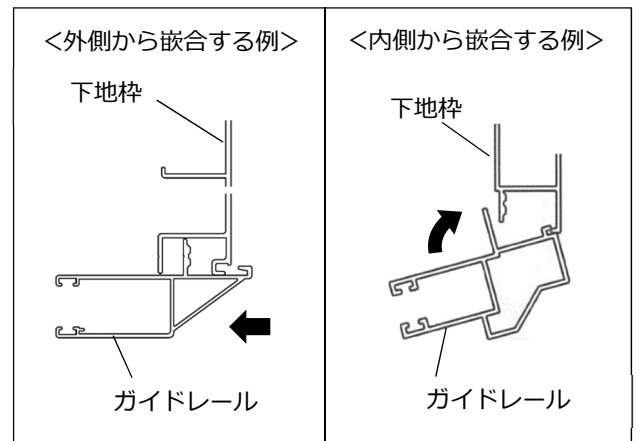
<注意事項>

上限付近でケース板やまぐさに指を挟まないようご注意ください。また、座板から手を離すと勢いよくシャッターが巻き上がり、破損するおそれがあります。

- ②ガイドレールの先端を座板、スラットの端部に差し込みながら、下地枠に嵌合させます。

<注意事項>

ガイドレール形状により下地枠への嵌合方法が異なります。右図を参考に取付けてください。



- ③下地枠にガイドレールをねじ固定します。

<注意事項>

電動ドライバーは使用しないでください。

- ④シャッターを操作し、正常に作動することを確認してください。

